



高知県立大学

文化学部

思索と実践

文化学部では、書物の読解と理解に基づいた深い思索に加えて、
フィールドに出て学びを実践する機会も多くあります。
思索と実践を通じて、学ぶ楽しさを知り、世界を見る目を養っていきましょう。



ホームページは
←こちらから！



自由な学びで自分の一番を探そう。

もっと詳しく!→



「先生になりたい」「観光に関わる仕事がしたい」大学は、そんなみなさんの夢を叶えるための学びの場所です。

Ⅲ 幅広い知識をバランスよく学び、専門性を高めるカリキュラム



3系10領域の学び

言語文化系

英語学領域 日本語学領域
国際文化領域 日本文学領域

地域文化創造系

地域文化領域 観光まちづくり領域
地域づくり領域 現代法文化領域
観光文化領域 生活法文化領域

文化総合系(夜間主コース)

言語文化系と
地域文化創造系から
エッセンスを学ぶ

教育の特色



少人数科目を多く設置し、学生同士、学生と教員との距離が近い学びの機会を提供しています。こうした科目では、議論をすること、考えること、実践することを重視し、アクティブラーニングが行われています。授業を通して、現代社会で通用する幅広い教養を身につけ、創造的思考力を育成することをめざします。



Ⅲ 少人数教育



文化学部での授業や学習プログラムのなかには、学生が各教員の研究室に所属して研究を行う「文化学課題研究ゼミナール」のほか、「専門演習」がそれぞれの領域で開講されています。

「文化学課題研究ゼミナール」では、1つの研究室に一学年5～10名程度のゼミ生が所属しています。

Ⅲ 英語で学べる科目群



文化学部では、英語による授業が開講されています。英語をしっかりと使いこなせる力を身につけ、英語の言語的特徴や、文学作品の分析、日本や外国の文化などを幅広く学べる科目構成になっています。また、授業では、英語を使って、自分の意見を表現できる「発信力」も高めていくことができます。

Ⅲ フィールドワーク



文化学部では、書物を読んで思索することと同時に、フィールドに出ることを重視しています。

たとえば「観光フィールド専門演習I」では、多様な分野の教員による指導のもとでフィールドワークを行い、観光を多面的に理解します。「地域づくり専門演習I」では、プロジェクトの運営を通して地域づくりに関する理論と実践を学びます。

国際交流



III 留学生の派遣・受入



文藻外語大学(台湾)

協定校からの 受入	長期(1年)	2名
協定校への 派遣	長期(1年)	2名
DDP(受入、派遣)		1名



エルムズカレッジ (アメリカ)

協定校からの 受入	短期(2週間)	10名
	長期(1学期または1年間)	1名
協定校への 派遣	短期(2週間)	10名
	長期(1学期または1年間)	1名



ヴェネツィア カ・フォスカリ大学 (イタリア)

協定校への 派遣	短期(1週間)	10名
-------------	---------	-----



ゲント大学 (ベルギー)

協定校からの 受入	長期(1学期または1年間)	2名
協定校への 派遣	長期(1学期または1年間)	2名

ダブル・ディグリープログラム(DDP)

高知県立大学と文藻外語大学両大学が相互的に単位を認めることで、両大学の学位(学士)が取得できる仕組みです。2年生の後期から2年間台湾で正規の学生として勉強します。日本に戻ってから1年半で残りのカリキュラムを終わらせ卒業論文などを仕上げます。



開南大学(台湾)

協定校からの 受入	長期(1学期または1年間)	2名
協定校への 派遣	長期(1学期または1年間)	2名

※短期は定めていません。



木浦国立大 (韓国)

協定校からの 受入	短期(1週間)	10名
	長期(1学期または1年間)	2名
協定校への 派遣	短期(1週間)	10名
	長期(1学期または1年間)	2名



慶尚国立大 (韓国)

協定校からの 受入	短期(1週間)	10名
	長期(1学期または1年間)	2名
協定校への 派遣	短期(1週間)	10名
	長期(1学期または1年間)	2名

III 文化学部で世界とつながる



■ 留学生チューターより

加藤 侑里さん

私は学生チューターとして、留学生の身の回りのお手伝いや学生生活のサポートをしています。最初は外国語を話せないし、自分にこの役割が務まるのだろうかと不安でしたが、やってみると、留学生と交流するのはとても楽しく、彼女たちから学べることも多いです。また、留学生と関わる際に、彼女たちから「ありがとう」と感謝の言葉を言われた時、やって良かったなと思いました!

■ 台湾からの留学生より

郭幸燭さん

台湾の母校と比べて、高知県立大学は毎日清掃が行われ、学校の環境がいつもきれいな状態に維持されています。食堂メニューの種類が豊富で、スタッフたちも親切だし、おいしいです。先生たちは、それぞれ授業のスタイルが違います。学生の思考回路を刺激することを重視しているようです。学生の意見を集めて、問題の解決に積極的に関わらせてくれます。図書館はグループ学習室があり、様々な資料を活用したグループ学習に活用できます。自習に最適です。留学生生活はとても充実しています!

主な就職先 (文化学部卒業、過去5年)

● 高知県内、四国内はもちろん、全国各地で教員・公務員として働いています。

- 高知県教育委員会(国語教諭・英語教諭、学校事務)
愛媛県・鳥取県・和歌山県など、全国の教育委員会で活躍しているほか、日本語教員として東京早稲田外国語学校に採用されています。
- 高知県庁、高知市、高知県内市町村、県外でも政令指定都市を含む自治体職員
四国内の大学法人にも就職しています(高知県公立大学法人、国立大学法人愛媛大学、国立大学法人徳島大学)

● 高知県内の企業に就職、地域に貢献したい学生が多くいます。(株)高知新聞社、とさでん交通(株)、(株)四国銀行、(株)技研製作所、こうち生活協同組合、ほか

● 自分の可能性を生かし、全国各地の様々な職種で活躍しています。日本郵政(株)、(株)フジドリームエアラインズ、(株)百十四銀行、(株)星野リゾート、ハウステンボス(株)、ほか

このほか、文化学部では、さまざまな活動が行われています。



学生生活について、詳しく知りたい方は、こちら!



免許取得・資格取得サポート



✓国語・英語の中学校・高等学校教員をめざす

文化学部では、以下の教育職員免許状取得が可能です。

中学校教諭一種免許状(国語)

高等学校教諭一種免許状(国語)

中学校教諭一種免許状(英語)

高等学校教諭一種免許状(英語)

文化学部では、教員をめざす学生の実力をつけるために、日本語検定やTOEIC(R)などの検定試験のサポートを行っています。また、各教科の教育法の授業では、模擬授業や教材の作成などの実践的な内容が取り入れられており、教員をめざす学生同士の学び合いが積極的に行われています。



✓日本語教師をめざす

「日本語教育能力検定試験」に合格するために、日本語教員養成プログラムを用意し、学びのサポートをしています。指定された科目から30単位以上を修得すれば「高知県立大学日本語教員養成プログラム認定証」が授与されます。このように、学習目標を明確にできるシステムとなっています。



✓公務員をめざす

公務員になるには、大学での勉強だけでなく、公務員試験に向けた準備が必要です。文化学部では、公務員をめざす学生のために、「公務員対策講座」が開講されています。講座は、昼間主の講義時間が終了した18時から始まります。永国寺キャンパスでの開講となっているため、大学の講義から引き続き受講できる利便性があります。



入試情報

入学定員：150人（言語文化系・地域文化創造系・文化総合系）

文化学部は、昼夜開講制です。

昼間に履修する「言語文化系」「地域文化創造系」と、主に夜間に履修する「文化総合系（夜間主コース）」に分けて募集を行います。

■共通テストあり

*言語文化系・地域文化創造系

一般選抜(前期日程:72人、後期日程:10人)

■共通テストなし

*言語文化系・地域文化創造系

11月 学校推薦型選抜(県内:30人、全国:8人)

*文化総合系(夜間主コース)

11月 学校推薦型選抜(県内10人)

11月 社会人選抜(10人)

3月 社会人選抜(10人) ←出願期間に注意!

このほか、

▶「言語文化系・地域文化創造系」には、社会人選抜、私費外国人留学生選抜、3年次編入学選抜

▶「文化総合系」には、3年次編入学選抜があります。

詳しくは、ホームページで
ご確認ください。→



高知県立大学 文化学部 Faculty of Cultural Studies, University of Kochi

〒780-8515 高知市永国寺町2番22号 TEL:088-821-7104(代表) <https://www.u-kochi.ac.jp/~bunkagak/>

高知県立大学文化学部広報委員会